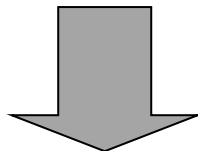


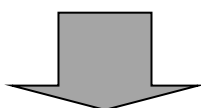
平成31年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（国語科）

		低学年	中学年	高学年
身に付けさせたい力	1年	<ul style="list-style-type: none"> ○大事なことを落とさないようにしながら興味をもって聞いたり、話題に沿って話し合ったりする力 ○事柄の順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く力 	<ul style="list-style-type: none"> ○理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話したり、相手が伝えたいことや自分が聞きたいことも中心を捉えて聞いたり、互いの意見の共通点や相違点に注目して話し合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ○話の内容が明確になるように話の構成を考えて話したり、相手の目的や意図に応じて自分の考えと比較して聞いたり、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合う力
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と友達の見解を比べ、同じところや違うところを見つけ、発表したり書いたりする力 ○事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む力 ○句読点や「」、段落を下げるなどを正しく文章表記する力 ○長音、拗音、促音、撥音等の表記ができ、助詞の「は」、「へ」、「を」を文の中で正しく使う力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし工夫して書く力 ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景を叙述を基に捉えたり、中心となる語や文を見付け要約したりし、感じ方には違いがあることに気付きながら読む力 ○句読点を適切に打ち、文章を書いたり、辞書を利用したりして調べる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成や展開を考えたり、書き表し方を工夫したりして文章を書く力 ○登場人物の相互関係や心情、描写を基に捉えたり、必要な情報を見付け、文章全体の構成を捉えて要旨を把握したりし、自分の考えをまとめたり広げたりしながら読む力 ○語彙を豊かにし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う力



	低学年	中学年	高学年		
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ活動を積極的に取り入れ「いつ、どこで、なにをした。」という簡単な話をするようになってきた。 ○教科書の文型を手本として、「いつ、どこで、なにをした。」という程度の簡単な文章を書くことができる。 ○挿絵と結び付けて想像した場面の様子を友達と交流したり、登場人物になって気持ちを発表したりすることに楽しんで取り組んでいる。 ○「問い」と「答え」など文の役割について理解できてきている。 ○音読の家庭学習を毎日継続することにより、音読の力を伸ばしている。 ○おすすめの70冊を中心に、意欲的に読書に取り組んでいる。 ○自分の興味・関心に沿って、本を選択し読むことができる。 ○視写の速度に個人差が大きい。 ○ひらがなの学習を終えたが、ひらがなが定着していない児童や、字形の整わない児童がいる。 ○濁音や半濁音、拗音、促音などの使い方や助詞「は」「を」「へ」が身に付いていない児童もいる。 	3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○書き出しの工夫、会話文やその様子を入れて書くこと、中心をはっきりさせ、分かりやすくまとめることを意識して書くことができなったり、語彙力が乏しかったりする児童もいる。 ○ノートに読み取ったことや自分の考えを書くことはできるが、要点を押さえ、段落相互の関係などに気を付けて、分かりやすくまとめることが苦手である。 ○考えた内容をグループで話し合い、友達と考えを共有したりまとめたりすることが苦手である。 ○読書活動には、積極的に取り組み、調べ学習のために読書をしたり、参考になる本を集めたりするなど意欲的に取り組んでいる。 ○相手や場に応じた話し方や聞き方への意識が低い児童が多く見られる。特に、話の聞き方が良くない児童が多く、話し手を見て最後まで聞くことが苦手である。 ○国語辞典や漢字辞典の使い方を知り、辞書を身近に置くことで、言葉への関心を高めている。 ○漢字の読み書きの定着に差がある。 	5 年	<ul style="list-style-type: none"> ○聞き手を意識した話し方ができる児童は少ない。また、相手の話を注意深く聞いたり、自分の意見と比べたり、出た意見をまとめたりすることには課題がある。 ○「始め」「中」「終わり」の簡単な構成で書くことができる。しかし、情報が整理できずに伝えたいことがはっきりしなかったり、語彙や表現力が乏しかったりする児童もおり、個人差が大きい。 ○読書活動への取り組む姿勢に個人差が見られるが、全体的に良く読んでいる。 ○物語を読むことが好きな児童は多い。登場人物の心情を想像することはできている児童が多い。 ○説明文では、文章のキーワードを押さえながら内容を捉えることができる。しかし、抽象的な言葉の理解や筆者に対しての意見をもって読むことは個人差がある。 ○漢字の読み書きの定着には、個人差がある。

2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○発言や発表の際の声が小さく、全体に届かない児童が見られる。 ○原稿用紙の使い方が身に付いていない児童が多い。 ○ほとんどの児童が、物語の内容の大体を理解しながら読むことができる。 ○音読の活動を継続して行うことで、声の強弱や間の取り方を工夫することや、内容を把握して読むことができるようになってきている。 ○読書タイムや図書の時間に、意欲的に読書をする児童が多い。読み聞かせでも、真剣に聞いている児童が多い。 ○「は」と「わ」、「を」と「お」の使い分けが曖昧な児童が多い。 ○学習した漢字を適切に作文や文章に書き表すことが難しい児童が多い。 ○とめ・はね・はらいに気を付け、字形を整えて正しく漢字を書いている児童は少ない。 	4 年	6 年
		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活を振り返らせる文章を書かせると、いつ、どこで、誰と、何をしたという程度の文章を書くことはできる。一方で、構成を工夫や語彙表現は個人差が大きい。 ○発表自体、苦手意識をもっている児童は多くないが、発言や発表の際の声が小さく、全体に届かないことが多い。 ○グループによる話し合い活動では、テーマについて全員が自分の考えを言うことが難しい。話し合いの経験や語彙力が少なく、スキルが身に付いていないことが多い。 ○段落のつながりを考えたり、登場人物の気持ちや様子を考えたりする際、言葉に着目して読むことができる。 ○調べ学習の際には、図書資料から事実を読み取ることに意欲的に取り組んでいる。 ○読書活動に意欲的に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを小グループで伝えることはできるが、全体の共有の場で伝えることが難しい児童が多い。また、互いの意見や考えなどを関わらせながら、考えをまとめたり広げたりする力は苦手な児童が多い。 ○自分の考えの根拠を明らかにして書くことができるようになってきた。しかし、情報が整理できず、筋道の通った文章にならなかったり、語彙や表現力が乏しかったりする児童がいたりし、個人差が大きい。 ○文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる力は、個人差がある。 ○読書活動に意欲的に取り組む児童が多く、読書タイム以外の時間にも本を読む姿が見られる。 ○図書資料を積極的に活用して調べ活動に取り組む児童が増えてきている。必要な情報を選択して活用する力が弱い。



低学年	中学年	高学年
<p><1年></p> <p>話す・聞く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手を意識して話す場を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる話し方のモデルを示す。 ・朝の会のスピーチ活動をは年間を通じて継続し、話す力、聞く力、質問の力を伸ばす。 <p>書く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物投影機でモデルを示し、書き方を知らせていく。 <p>読む力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> 挿絵や写真、動画や音声の有効活用しながら、大よその内容を読み取れるようにしていく。 ○ワークシートの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が書き込みやすいようにマス目の記入欄にし、教科書と同じ写真や挿し絵を活用した分かりやすいワークシートを活用する。 ○発問の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味を活かした発問をする。 ・発問を工夫し、書かれていることから、場面や情景を豊かに想像できるようにする。 ○読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・読書の楽しさを味わえるように、読書タイム、読み聞かせ、図書の時間の活動の工夫を継続する。 ・「本郷小の150冊」読書活動を推進し、読書への関心を高めていく。 ・読書記録カードを活用し、年間を通して読書に取り組むようにする。 <p>言葉についての知識・理解を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濁音や半濁音、拗音、促音、助詞「は」「を」「へ」などに気をつけながら視写させる。 ・既習文字や漢字を使って言葉集めをし、語彙や知識を増やしていく。 	<p><3年></p> <p>話す・聞く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対話、話し合いの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・聞く・話すことを日常的に意識できるようにする。例えば、スピーチを聞いた後に意見や感想を伝える機会を多くもつ。 ・司会台本を活用し、話し合いの方法を知らせる。 <p>書く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回、100ます作文として、会話文書き出しや自分の気持ちを書かせる指導を行う。作文には、コメントを付け、表現力を養う。書くことへの抵抗感をなくす。 <p>読む力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> 挿絵や写真をICT機器で拡大表示し、内容を読み取れるようにする。 ○ワークシートの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・めあてや考え、まとめを内容に盛り込むことで他教科のまとめ方にもつながる形式にする。 ・これらの形式をノート指導へ移行していく。 ○発問の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・確かな理解を促すため何を考えたらいのかを明確にした発問をする。 ・書かれていることから、場面や情景を豊かに想像できるようにするため発問と教材の提示を有効的に組み合わせる。 ○対話、話し合いの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・意見をまとめたり深めたりするために、対話やグループによる司会を立てた話し合いを設定する。 ○読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・読書タイムでは、じっくりと読書できる静かな雰囲気をつくり、読書の楽しさを味わわせる。 ・「本郷小の150冊」読書活動を推進し、読書に対する関心を高める。 ・紹介したい本の説明をしたり情報収集のために読書したりする活動を設定する。 <p>言葉についての知識・理解を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○辞書の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・辞書を身近に置き、すぐに調べられるようにする。自分用の辞書を購入させ、付箋を貼ったり、線を引いたりしながら、言葉に興味をもたせ、語彙を増やす。 ○添削の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・提出物やテストなどの添削においてとめ・はね・はらいと画の長さについては丁寧添削する。 ・既習漢字を使用していない場合や、誤字がある場合はその都度書き直させる。 	<p><5年></p> <p>話す・聞く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材や資料集めを行い、根拠をはっきりさせて話すことができるようにする。 ・ペアでの対話やグループなど、話し合う場を工夫し、話したり聞いたりする力を育てる。 <p>書く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な構成メモを書くようにし、書きたいことを整理させるようにする。 ・書く題材に合わせて、見えそうな語彙の提示することで語彙を増やし、表現力を培う。 ・自分の考えをノートに書く習慣を身に付けさせるために、書く時間の確保を図る。 <p>読む力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・自力解決の時間を保証し、自分の考えを表現できるように指導する。 ・意見をまとめたり深めたりするために、グループや全体での話し合う時間を設ける。 ○読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・伝記や意見文、解説文や新聞など、さまざまなジャンルの本を読む場を設定する。 ・並行読書を取り入れ、読書の幅を広げる。 ○言語活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の特性に合わせて、多様な言語活動を設定する。 <p>言葉についての知識・理解を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○辞書の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・辞書を身近に置き、すぐに調べられるようにする。 ・図書館の利用を身近なものにする。

<2年>

話す・聞く力を育てる

- 対話、話し合いの工夫
 - ・少人数で話し合う機会を意図的に設定し、話し合うことへの抵抗感を減らしていく。
 - ・相手の話を聞いた後に質問をする活動を取り入れることで、聞くことができるようにする。

書く力を育てる

- ・出来事を順序よく書いたり、簡単な構成を考えて書いたりすることができるように、接続語に着目させたり、モデルを示したりすることで「書く」ことへの負担を減らしていく。

読む力を育てる

- 基本内容の読み取りの定着
 - ・物語文においては、時・場所・登場人物・主人公の気持ちの変化を、説明文においては、「はじめ・中・終わり」に分ける活動を各単元で確実にを行い、内容を読み取ることができるようにしていく。
 - ・繰り返し使われる言葉や表現に注目させ、文章のキーワードを書き抜けるようにしていく。
- 発問の工夫
 - ・児童の思考を働かせることができる発問をすることで、児童が主体的に文章を読むことができるようにしていく。
- 読書活動の充実
 - ・読書の楽しさを味わえるように、読書タイム、読み聞かせ、図書館の時間の活動の工夫を継続する。

言葉についての知識・理解を育てる

- ・正しい文字を書くことができるように、漢字のノートや漢字テストを丁寧に添削する。特にとめ・はね・はらいと画の長さについては、見本を示すなどして丁寧に指導する。
- ・言葉集めや、既習の漢字を使った作文を書く機会を意図的に設定していく。
- ・促音、句読点、「」や段落などに気を付けながら視写させる。

<4年>

話す・聞く力を育てる

- 対話、話し合いの工夫
 - ・司会や提案の役割について理解させ、話し合いの規模に応じて役割を果たす経験をさせる。
 - ・適宜話す機会を設け、筋道を立てた話し方に継続的に取り組み、話すことへの抵抗感をなくす。

書く力を育てる

- ・百マス作文を継続して行い、自分の気持ちや思いを表現する力を付ける。
- ・構成や段落を意識させたり、書き方のモデルを示したりする。

読む力を育てる

- 対話、話し合いの工夫
 - ・意見をまとめたり深めたりするために対話やグループによる話し合いを設定する。
- 読書活動の充実
 - ・読書タイムでは、じっくりと読書できる雰囲気をつくり、読書の楽しさを味わわせる。
 - ・司書と連携し、調べ学習のために図書室を活用して必要な本を選び、情報収集のために読書をする時間を設ける。
- 言語活動の工夫
 - ・教材の特性に合わせ、多様な言語活動を設定し、読みの幅を広げる。

言葉についての知識・理解を育てる

- 辞書の活用
 - ・国語辞典、漢字辞典を準備しておき、分からない言葉や漢字は、すぐに調べられるように声をかける。
 - ・俳句や百人一首を年間を通して行い、語彙力を豊かにする。

<6年>

話す・聞く力を育てる

- ・クラス全体やグループなど話し合う場を工夫したり、意図的に話し合いの場を多く設定したりすることで、友達の考えと自分の考えを比較し、共感したり、補足や反論をしたりできるようにする。

書く力を育てる

- ・簡単な構成メモを書くようにし、書きたいことを整理させるようにする。
- ・書く時に使える語句や表現を示し、自分の考えを豊かに表現できるようにする。

読む力を育てる

- 読書活動の充実
 - ・伝記や意見文、解説文や新聞など、さまざまなジャンルの本を読む場を設定する。
- 言語活動の工夫
 - ・教材の特性に合わせ、多様な言語活動を設定する。
- 発問の工夫
 - ・学習のめあてに迫るために、考える内容が明確な発問にする。
- 話し合いの工夫
 - ・自力解決の時間を確保する。
 - ・意見をまとめたり深めたりするために、グループや全体での話し合いを設定する。

言葉についての知識・理解を育てる

- 辞書の活用
 - ・辞書を身近に置き、すぐに調べられるようにする。
- 図書資料の活用
 - ・調べ学習の際に、3階図書室を利用することを推奨する。

	低学年	中学年	高学年
成果 (○) と課題 (●)	1 年	3 年	5 年
	<p>話す・聞く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝の会で日直によるスピーチの時間を設けたり、教師にインタビューをして幼児に学校案内を行ったりして、話したり聞いたりする機会を多くもつことができた。 ○継続することで話す力をつけることができた。 ●相手の顔を見ながらよく伝わる声で話せない児童がいたので、相手に伝わる声の大きさを意識させより多く話す機会を設け経験させる必要がある。 <p>書く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章を書く能力には個人差があるが、書き方のモデルを示すことで普段のできごとについて「したこと」「見たこと」「話したことや聞いたこと」に視点を当てながら書くことができるようになってきている。 ○教科書の文を学習した後にクイズや図鑑作りの言語活動を設定することで、文章を書く機会も増え、書く力を伸ばすことができた。 ●視写をしたり、短作文をしたりするなど書く機会を増やしていったが、助詞の使い方、拗音、促音の使い方を習得し切れていない児童もいる。 <p>読む力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○挿絵や写真を用いたワークシートを使用したことで学習意欲が高まり、より確実な内容理解ができた。 ○発問を工夫し、挿絵や写真と書かれていることを対応させながら、場面や情景を豊かに想像し、読みを深めることができた。 ○読書活動については、週1回の図書室利用や朝読書の時間に、集中して読書することができた。また、地域支援スタッフによる読み聞かせを定期的に行い、読書に親しんだ。 ○本郷小の150冊を教室の横に置いたり、並行読書用の図書を学校図書館支援員に用意してもらったりすることで、興味をもって取り組んだ。 ●語彙力に差があるため新しい文を読む力に課題が見られる。 <p>言葉についての知識・理解を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名や片仮名、漢字をノートに繰り返し復習することで、ほとんどの児童が平仮名を正しく書けるようになった。また、言葉集めを行い、少しずつではあるが語彙を増やすこともできた。 ●片仮名・漢字については、未定着の児童がいる。引き続き復習をする。 ●文章の中で濁点を忘れたり、拗音・促音の表記を間違ったりする児童がいるので、視写や短作文の機会を利用し指導を繰り返し行う。 	<p>話す・聞く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の感想や意見を伝えることができる児童は多く、他者の意見を最後まで聞くことがおおむねできる。 ●話し合い活動の場を通して、友達の意見を聞き、感想や意見を述べたり、アドバイスをしたりした。一人一人の意見を受け入れ、その考えに対しての意見を述べることのできる児童が少ない。 <p>書く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はじめ・中・終わりを意識させることで3つに分けた簡潔な文章を書くことが身に付いた。 ●作文で自分の考えや思いを書くことができたが、個人差が大きい。 ●段落構成や接続語、指示語の理解の個人差が大きい。 <p>読む力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読み取りの視点やポイントを示すことで、読み取りをする力、読み取ったことをまとめる力が身に付いてきている。 ○登場人物の発言や行動に着目し、登場人物の心情をまとめることで、考えを深めることができた。 ○読書時間を確実に設けることで、読書に集中して取り組む児童の姿がおおむね見られた。 <p>言葉についての知識・理解を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員が辞書を身近に置くことで、分からない単語は積極的に辞書を使って調べるという習慣が身についた。 ●語彙、漢字の定着は個人差が大きかった。継続して練習させていきたい。 	<p>話す・聞く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の伝えたいことから話題を決め、新聞やインターネットを使って情報を収集することで、根拠のある話をする事ができる。 ○グループの人数構成や話し合う際の視点を提示するなどの工夫を行い、様々な人を前にして話することに慣れてきた。 ●自分の考えを話すことはできるが、相手の意図を考えながら反応して聞くことのできない児童が多い。 <p>書く力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章を書く時には、語彙を提示したり、簡単な構成メモを作ったりすることで、文章を整理し、まとめて書く力がついてきたが、個人差が大きい。 ●自分の考えを、書くことができるようになってきた児童が多いが、個人差がある。 <p>読む力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○並行読書を取り入れたり、関連作品を教室に置いたりすることで、読書の幅を広げることができた。 ○ポスターにまとめたり、意見文にまとめたりするなど言語活動の工夫を行うことで、意欲的に作品を読むことができた。 ●自分の考えを明確にしながらか読むことには、個人差があった。 <p>言葉についての知識・理解を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習だけでなく、文章を書く際には、辞書を身近に置き、意味や漢字を調べるようになっていく。 ●漢字の定着は個人差があった。継続して練習させていく必要がある。

<2年>

話す・聞く力を育てる

- 話す機会を意図的に作ったことで、全体の場で話すことを以前より抵抗なく取り組むことができるようになってきた。
- 全体の場では、聞いて理解することが難しい児童がいた。聞いたことを理解できるように問い返していく。

書く力を育てる

- 接続詞や順序を表す言葉に注目させたり、見本を示したりすることで、書くことが苦手な児童も自分で書き進めることができた。

読む力を育てる

- 文の構成ごとに何が書かれているか、繰り返し出てくる言葉は何かを丁寧に確認していくことで、物語文を深く読み取ることができた。
- 児童同士の考えの違いを明確にすることで、文章をより深く読み取ろうとする意欲を高めることができた。
- 週一回の図書の時間や読書タイム、朝の読み聞かせなどでしっかりと児童の読書の時間を確保するとともに、図書委員の「読書リレー」などにも取り組んだ。それぞれの時間で集中し、楽しんで読書することができた。

言葉についての知識・理解を育てる

- 漢字の学習では、繰り返しとめ・はね・はらいと画の長さについて繰り返し粘り強く指導することで、多くの児童が正しい字形で書くことができるようになってきた。
- 段落や句読点、「」などの決まりを守って、正しく作文を書くのが難しい児童が一定数いた。見本を示したり、一緒に読み上げて確認したりして、今後も正しく書けるように、継続的な指導が必要である。

話す・聞く力を育てる

- グループでの話し合いのときには、話題に沿って、話し合いをすることができた。
- 全体での話し合いの場になると、発言に対して自信がもてず、消極的になってしまう児童が見られる。話し合い以前に、話を聞くことができない場面が多く見られた。
- 要点をおさえて話を聞くことができていない児童が見られた。どのようなことに気を付けて話を聞くのか、適宜声をかけていく。

書く力を育てる

- 単元の中で作文に取り組んだことで、文章構成を意識し、様子や気持ちを表す言葉を使うこと、自分の考えをまとめることなどを書くことができるようになってきた。
- 自分の考えを深めて書くことができない児童も多い。その都度、モデルを示したり、他の児童の文章を紹介したりしながら書くことを広げられるようにする。
- 時系列や話の構成を意識して書くことができない児童が多い。100マス作文を用いて、繰り返し指導を行っていく、

読む力を育てる

- 教材文の叙述をもとに、物語文では登場人物の気持ち、説明文では文章構成や筆者の考えなどを読み取ることができた。全体で話し合うことで更に考えを広げたり深めたりすることができた。
- 司書と連携し、読書環境を整え、ブックトーク等の読書活動に取り組んだことで、読書する意欲が高まった。
- 意欲を含め、個人差が大きい。

言葉についての知識・理解を育てる

- 漢字や言葉の学習への意欲も高く、漢字の書き取りテストの定着はよい。
- 新出漢字の量が学期によってばらつきがあるため、多い時期は読みを優先し、漢字の書き取りは時間をかけて定着させるように心がけたが、定着が不十分であった。

話す・聞く力を育てる

- スピーチやグループでの話し合い、パネルディスカッションなど、様々な発表の場を設定した。その結果、聞き手を意識した話し方ができるようになってきている。

書く力を育てる

- 構成を考えて書くことで、自分の思いや考えをより伝わるように書き表すことができる児童が増えた。
- 成果が出ている反面、個人差が大きい。個別での支援や継続的な指導が必要である。

読む力を育てる

- 物語文では教材文の叙述をもとに、登場人物の心情の変化を考えながら読み進めることができた。
- グループや全体での交流を意図的に取り入れ、自分の読みを広げたり、深めたりできるようになってきた。
- 読書活動は、隙間の時間に、読書をする児童もいれば、全く読まないでいる児童もいる。個人差が大きい。また、読んでいる内容に、個人差が見られた。様々なジャンルの本に挑戦できるよう図書館司書と連携して支援していくようにする。

言葉についての知識・理解を育てる

- 調べ学習だけでなく、文章を書く際には、児童が自分から辞書を身近に置き、意味や漢字を調べるようになってきている。

